

やめよう危険な造成工事

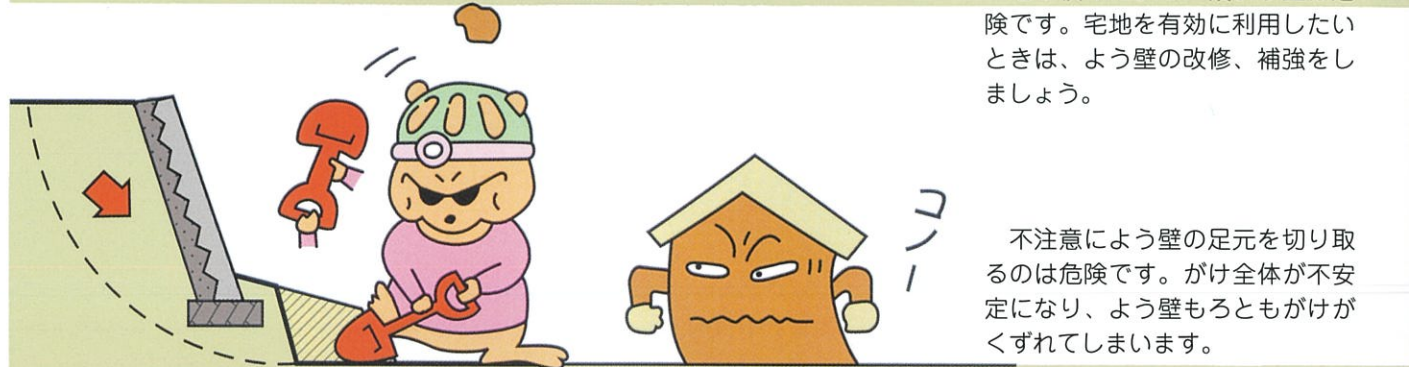
あなたがやっている
その行為、地震・
大雨がねらっている!

※地震や大雨の被害は、局所的に弱い所に発生する傾向にあります。



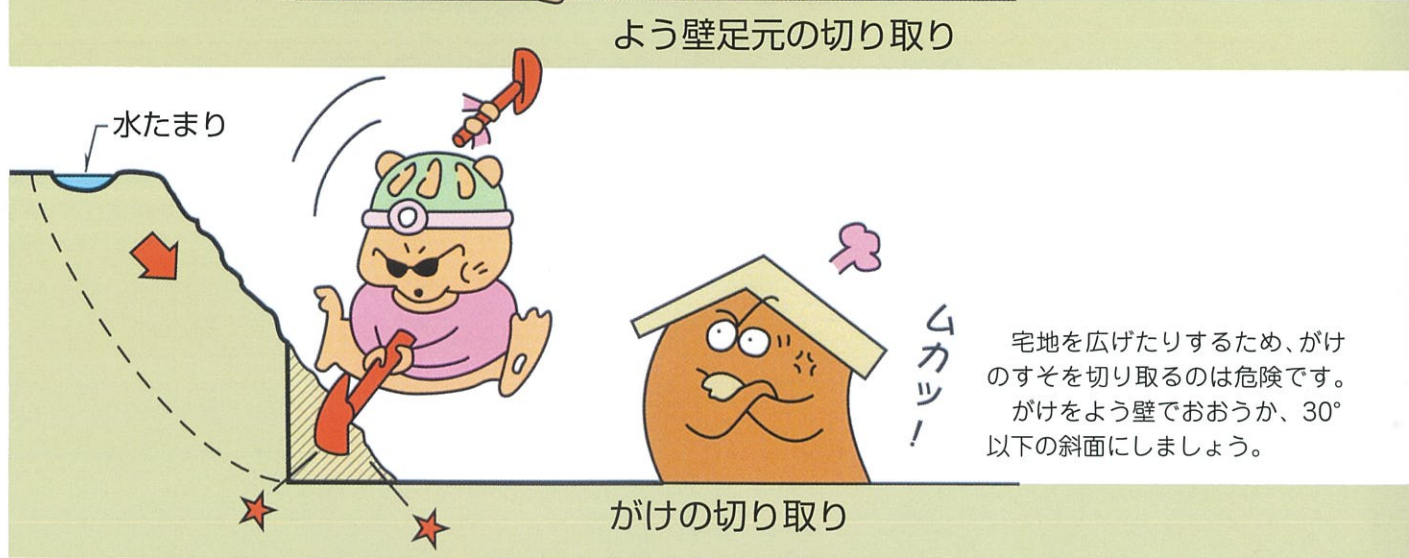
よう壁の増し積み

増し積みによる二段よう壁は危険です。宅地を有効に利用したいときは、よう壁の改修、補強をしましょう。



よう壁足元の切り取り

不注意でよう壁の足元を切り取るのは危険です。がけ全体が不安定になり、よう壁もろともがけがくずれてしまいます。



がけの切り取り

宅地を広げたりするため、がけのすそを切り取るのは危険です。がけをよう壁でおおうか、30°以下の斜面にしましょう。

確かめよう宅地の安全性



ふだんは大丈夫のように見えても、〈地震〉〈梅雨や台風の大雨〉などが思いもかけない宅地災害をもたらします。宅地の安全を考えて造成するのは当然のこととして、常日ごろの維持管理も怠ってはなりません。このイラストを参考に、ぜひあなたの宅地を点検してみてください。



がけ上の大木は地割れのもとです。

がけ上の水たまりは崩壊のもとです。

がけ上の転石やくずれそうな土は取り除きましょう。

斜面先のくずれはありませんか。

側溝のどろは撤去し、いつも水が流れるようにしましょう。

よう壁の上のきれつは雨水が流れこみ、非常に危険です。

水抜き穴からうまく水が流れていますか。

地盤沈下はありませんか。

宅地の排水こう配はがけと反対方向にとりましょう。

雨水はまとめて側溝に流しましょう。

石垣などにきれつやはらみ出しがありませんか。

石垣などの割れ目から地下水がしみでていませんか。

こんな工事は許可がいらいます。

宅地造成工事規制区域では、宅地以外の土地を宅地にするため、または宅地内の工事で、次のようなものは許可がいらいます。

- ① 高さ2mをこえる「がけ」ができる切土。
- ② 高さ1mをこえる「がけ」ができる盛土。
- ③ 切土と盛土による「がけ」が2mをこえるもの。
- ④ 切土または盛土をする土地の面積が、500㎡をこえるもの。

①切土工事



②盛土工事



③切盛土工事



④その他の造成工事

